

# 弥陀ヶ原の自然

弥陀ヶ原の景色  
花々や動物を紹介します。

富山県自然解説員

# 弥陀ヶ原の特徴

- 1.美女平から天狗平までの台地状高原
- 2.東西約20km×南北約3kmの広さ
- 3.標高1800m前後(1600～2100)の亜高山帯
- 4.立山火山が作った溶結凝灰岩台地上の高層泥炭湿原
- 5.「餓鬼の田」(池塘)が約2000～3000点在
- 6.強い季節風が吹く多雪地帯(6m～8mの積雪)



雪に覆われた6月上旬の弥陀ヶ原



7月上旬の雪解け後の弥陀ヶ原



オオシラビソを優占種とする針葉樹林極相林帯



傘形樹形(多雪と強風による)



旗形樹形(寒冷と強風による)



弥陀ヶ原の紅葉(10月10日頃から)





雲海と夕陽



雲海に沈む夕陽

# タテヤマと名が付く植物

- 研究者が「タテヤマ」と名を付けた植物の代表的なものには

タテヤマリンドウ

タテヤマアザミ

タテヤマウツボグサ

タテヤマオウギ(別名イワオオギ)

タテヤマイ(別名ミヤマイ)

俗称タテヤマチングルマ(赤花のチングルマ)

があります。



タテヤマリンドウ(立山竜胆)



タテヤマアザミ(立山薊)



タテヤマウツボグサ(立山靱草)



# タテヤマオウギ(立山黄耆)

別名イワオウギ(岩黄耆)



# タテヤマイ(立山葦)

別名ミヤマイ(深山葦)



俗称タテヤマチングルマ  
(立山稚児車)

# 弥陀ヶ原の蝶

- 弥陀ヶ原の三名蝶と呼ばれる

ベニヒカゲ(紅日陰)

コヒョウモン(小豹紋)

ミヤマモンキチョウ(深山紋黄蝶)

や美しい蝶が飛び交います。



ベニヒカケ(紅日陰)



コヒョウモン(小豹紋)



ミヤマモンキチョウ(深山紋黄蝶)



コヒオオドシ(小緋緘)



クジャクチョウ(孔雀蝶)



アカタテハ(赤蛺蝶)



ルリタテハ(瑠璃蛺)



キベリタテハ(黄縁蛺)



ウラギンヒョウモン(裏銀豹紋)



クモマベニヒカゲ(雲間紅日陰)



ヒメシジミ(姫小灰蝶)



アサマシジミ(浅間小灰蝶)



アゲハチョウ(アゲハ蝶)



モンキチョウ(紋黄蝶)



クモマツマキチョウ(雲間棲黄蝶)



スジグロシロチョウ(筋黑白蝶)



アサギマダラ(浅黄斑)



キマダラセセリ(黄斑暁)



ジャノメチョウ(蛇目蝶)

# 弥陀ヶ原の蜻蛉

- 弥陀ヶ原の湿原周辺には  
アキアカネ  
カオジロトンボ  
ルリボシヤンマ  
アオイトトンボ

などの蜻蛉が飛び交っています。



カオジロトンボ(顔白蜻蛉)



アキアカネ(秋茜)



ショウジョウトンボ(猩猩蜻蛉)



ミヤマアカネ(深山茜)



ノシメトンボ(熨斗目蜻蛉)



ルリボシヤンマ(瑠璃星蜻蛉)



アオイトトンボ(青糸蜻蛉)



カラカネトンボ(唐金蜻蛉)

# 池塘とその周囲の動物

- 池塘には
  - コセアカアメンボ
  - ヒメアメンボ
  - マメゲンゴロウ
  - ヒル
  - ヒキガエルの卵とオタマジャクシ
- 池塘周辺には
  - ヒキガエル
  - アカジムグリ

等が生活しています。



池塘(餓鬼の田)



コセアカアメンボ(小背赤水馬)



ヒメアメンボ(姫水馬)の食事中



マメゲンゴロウ(豆源五郎)



ヒキガエル(蟾蜍)の卵



ヒキガエル(蟾蜍)



アカジムグリ(赤地潜)

# 弥陀ヶ原の動物

- 弥陀ヶ原には  
オコジョ  
テン  
キツネ  
ノウサギ
- 松尾峠には  
ツキノワグマ  
カモシカ

等が棲んでいます。



オコジョ



テン(貂)



キツネ(狐)



ノウサギ(野兎)



カモシカ



ツキノワグマ

# 弥陀ヶ原の鳥

- 亜高山帯である弥陀ヶ原には

「高山の鳥」ホシガラス・カヤクグリ  
イワツバメ・イワヒバリがいます。

真冬に雷鳥が降りてきています。

「平地や山地の鳥」ウグイス・セキレイ  
等の多くの鳥がいます。



ホシガラス(星鳥)



キセキレイ(黄鵲鴝)



ウソ(鸛)



イワツバメ(岩燕)





イワヒバリ(岩雲雀)



カヤクグリ(茅潜)



ウグイス(鶯)



キビタキ(黄鶺鴒)

どうも有難うございました

■  
楽しい山旅を続けて下さい

「弥陀ヶ原の自然」終了

■  
富山県自然解説員